出愛・ふれ愛・助け愛・学び愛

葛尾村には素敵な4つの愛がある

第5号

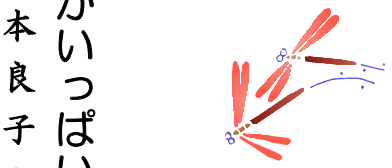
葛尾村教育委員会

「出会い」は「出愛」。一人一人との出会いを大切に

子どもたちとともに笑いともに夢を語り合いましょう

メディアとの関わり方は大人がお手本を示しましょう

お子さんは、テレビやゲームに長時間、夢中になっていませんか。このことによる健康や生活への悪影響について話し合いを持ちましょう。「だって、お父さんやお母さんだってスマホを…（子ども談）」携帯電話やスマートフォンの使いすぎは、まず大人が気をつけたいですね。



カルチャースクール

能のワークショップ

出愛

中学校の先生の書道教室

パッチワーク教室

私たちの教室には愛がいっぱい

落合　松本良子さん

公民館のパッチワーク教室で、月二回作品作りをしています。時にはお茶を飲みながらのおしゃべりタイム。何でも分け合って「助け愛」。村の行事や健康づくり教室への参加で「出愛」や「ふれ愛」があります。今年は小学生がパッチワークを学びに来て、数時間で世界に一つだけのオールポケットを作りました。初めは、針の持ち方もぎこちないようでしたが、回を重ねるごとに上手になり、最後まで頑張りました。作品を手にした時の笑顔はとても輝いて見えました。

大きな「学び愛」「ふれ愛」を感じ、私たちも嬉しく楽しい一時を過ごすことができました。

学び愛

寿学級の書道教室

〝ふれあい〟は、子どもたちに勇気と思いやり、耐性を育む

〝愛〟を受け取った人は、〝愛〟を与える人になる

助け愛

葛尾村花道づくり

人は、夢を育て
夢は、人を育てる
夢を持って生きる大人の姿が
子どもたちにも、
勇気と自信を
誇りと夢を育てていくのです
ともに夢を語り合いましょう

隣のおばあちゃん

葛尾中学校　三年　佐藤　友也さん

震災当時、幼稚園児だった。僕は、隣の家のおばあちゃんに助けられた。葛尾に引っ越してきて間もなかった僕の家族は、度重なる余震に精神的にも厳しい状況だった。そんな中、隣の家のおばあちゃんが、励まし元気づけてくれた。避難先の仮設住宅も同じで、共働きの両親に代わって僕の面倒も見てくれた。

隣の家のおばあちゃんに出会えた葛尾村。この感謝を胸に、また隣の家のおばあちゃんに会える日を楽しみに、葛尾村で僕は頑張っていく！

インディアカの試合を終えて

ふれ愛

あぜりあで行われた音楽会

「言葉は生きている」ことを十分に噛みしめて

私が出会った４つの愛

命が生まれる村

葛尾中学校　三年　佐久間 亮次さん

僕は、ふるさと葛尾村にもどって。初めて子牛が生まれるのを見て、とても感動しました。

このことを学校の先生や友達に話をして、その動画も見せました。動画を見た学校の星先生は、感動して泣いてしまいました。そのあと、僕は毎日、その子牛を牛舎に見に行きます。さわるととてもふわふわしていてかわいいです。

僕は、これからもたくさんの命が生まれるであろう葛尾村がとても好きです。そして、命が生まれる未来が、とても楽しみです。

ふれ愛に感謝

上野川　松本 敬一 さん

春の入園式に始まり、村民大運動会、ふれ愛給食試食会、花いっぱい運動等の行事に子どもたちと共に参加し、ふれ合うことが何よりの楽しみであり、心の癒やしになっています。

特に堂々と自分の意見を発信し、行動する姿を視るにつけ、震災という逆境の中ではあるけれど、多くの人たちとの交流が培ってくれた賜かとふと思います。

これからも村の未来に灯をともす存在になってくれることを今は願ってやみません。まさにふれ愛に感謝です。

＊写真の何枚かは，葛尾幼小中学校ＨＰのものを使わせてもらいました

かつらお「４つの愛」推進プロジェクトの思い

暦の上では８月８日が「立秋」でした。あっという間に夏も過ぎ、はや１０月です。今年の夏もいろいろな出来事がありましたが、来年の夏は、東京オリンピック。熱い夏になりそうです。

さて、今月２６日（土）は、「かつらおスクールフェスタ＆公民館まつり」が行われます。これまで、それぞれの単独開催でしたが、今年は合同で進めることになりました。子どもたちの学習の成果、公民館教室生の学習の成果が発表されます。お昼には、みなさんに給食（カレーライス）の試食もしていただく予定です。ぜひ、多くの皆様方においでいただき、出愛やふれ愛、学び愛の機会になれば、大変嬉しく思います。

今回のパンフレットにも、地域家庭教育推進相双ブロック会議発行の「子どもの未来を育む３つの提言」を参考にさせていただきました。

葛尾村教育委員会教育長　小野田　敏　之

発行：葛尾村教育委員会　　発行日：令和元年１０月１日